

平成30年度経営協議会における審議事項

開催日	審 議 事 項 等
(第72回) 書面審議 5月8日(火)	審議事項 国立大学法人福井大学有期契約職員給与規程の一部改正(案)について
(第73回) 書面審議 6月8日(金)	審議事項 (1) 平成29事業年度決算(案)について (2) 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について (3) 施設費貸付事業における担保の提供(案)について (4) 国立大学法人福井大学学長の任期に関する規則の一部改正(案)について (5) 牧島荘改修による外国人留学生宿舎(牧島ハウス)整備に伴う関係規則等の制定及び一部改正(案)について (6) 学長選考会議委員の選出(案)について
(第74回) 10月10日(水)	討議事項 (1) 福井大学をとりまく状況について (2) 医学部附属病院の経営状況等について 報告事項 (1) 2019年度福井大学事業費に係る概算要求の概要について (2) 入学者状況について (3) 平成29年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について (4) 外部資金の受入れ状況及び知的財産活動について (5) 福井大学基金について (6) 本学の取組みに関する最近の記事について
(第75回) 1月16日(水)	討議事項 (1) 大学院組織について (2) 医学部附属病院の経営状況等について 報告事項 (1) 2019年度国立大学法人運営費交付金について (2) 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について (3) 福井大学基金について (4) 本学の取組みに関する最近の記事について
(第76回) 書面審議 2月12日(火)	審議事項 本学役職員の給与改定方針(案)について ① 国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正(案)について ② 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について
(第77回) 3月13日(水)	審議事項 (1) 2019年度年度計画(案)について (2) 退職手当に係る業績の勘案(案)について (3) 役員の本給(案)について (4) 平成31年度の総人件費方針の変更(案)について (5) 2019年度学内予算配分(案)について (6) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について (7) 国立大学法人福井大学理事に関する規則等の一部改正(案)について (8) キャンパスマスタープラン2018の策定(案)について

	<p>(9) 産学官連携・地域イノベーション推進機構の組織的機能拡充(案)について</p> <p>討議事項 医学部附属病院の経営状況等について</p> <p>報告事項 本学の取組みに関する最近の記事について</p>
--	---

第72回国立大学法人福井大学経営協議会書面審議議事要旨

発送 平成30年5月8日（火）

（学外委員 9名） 伊藤正一，江守康昌，川田達男，佐々木正峰，笹田昌孝，藤田穰，
藤林康久，山崎幸雄，鷺山恭彦

（学内委員 8名） 眞弓光文，中田隆二，上田孝典，岩井善郎，一居利博，腰地孝昭，
安田年博，寺岡英男

審議事項

1. 国立大学法人福井大学有期契約職員給与規程の一部改正（案）について
書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり了承された。

第73回国立大学法人福井大学経営協議会書面審議議事要旨

発送 平成30年6月8日（金）

（学外委員 9名） 伊藤正一，江守康昌，川田達男，佐々木正峰，笹田昌孝，藤田穰，
藤林康久，山崎幸雄，鷺山恭彦

（学内委員 8名） 眞弓光文，中田隆二，上田孝典，岩井善郎，一居利博，腰地孝昭，
安田年博，寺岡英男

審議事項

1. 平成29事業年度決算（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。なお，学外委員から次のような意見があった。

—主な意見—

- ・人件費が前年度に比べて551百万円増であることについて，今後とも人的生産性の改善に取り組むことが求められる。

2. 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

3. 施設費貸付事業における担保の提供（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

4. 国立大学法人福井大学学長の任期に関する規則の一部改正（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

5. 牧島荘改修による外国人留学生宿舎（牧島ハウス）整備に伴う関係規則等の制定及び一部改正（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

6. 学長選考会議委員の選出（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

第74回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 平成30年10月10日(水) 12:40~14:50

場 所 福井大学本部棟2階 第一第二会議室(文京キャンパス)

出席者

(学外委員 8名) 江守康昌、川田達男、佐々木正峰、笹田昌孝、藤田 稔、藤林康久、山崎幸雄、鷺山恭彦

(学内委員 8名) 眞弓光文、上田孝典、中田隆二、岩井善郎、一居利博、腰地孝昭、安田年博、寺岡英男

欠席者

(学外委員 1名) 伊藤正一

陪席者

牧野監事、石井パークマン教育学部長、内木医学部長、福井工学部長、舟木参与、
本多参与、窪田参与及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員17名のところ、16名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

(定足数:委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条)

2. 第71回会議、第72回(書面審議)及び第73回(書面審議)議事要旨の確認について

学長から、第71回会議、第72回(書面審議)及び第73回(書面審議)議事要旨について確認後、了承された。

3. 討議事項

(1) 福井大学をとりまく状況について

学長から、資料1に基づき、福井大学をとりまく状況について説明があった後、次のような意見交換があった。

—主な意見—

(○学外委員、□学内委員意見。以下同じ)

○今後の地方における大学のあり方の議論の前に、どうしてこれほど大きな問題を国民の議論を経ずに行政は進めているのか。世界の競争の中で国立大学がどのようにニーズを受けてやっていくか、限られた予算の中でどのように配分すべきかという総合的な議論が抜けている。

○今回の大学改革で一番気になるのは、予算があり、その後に経営があるという方式になっている点である。この方式で、教育研究が本当に進むのか、成果をあげるのか、地域に対する働きかけや結びつきがより高次で実現できるのかは必ずしも明らかでない。

○各大学が地域との連携をどう考えるのか、教育研究をより高度化するためにはどのような形が良いのかよく考えて対処することが必要ではないかと思う。現時点では学長が話した「地域連携プラットフォーム」方式でやるのが良いのではないかと考えている。

□「地域連携プラットフォーム」について案を作り上げた上で、副知事及び福井県経済界のトップにも説明し、賛同を得て、福井大学のみならず、どのように地域全体で高等教育を支えていくかを議論する場を作りたい。

○福井大学の予算が減っていて国の全体の予算は変わっていないということは、他が増えているということだから、国の方針は明確ではないが何かあるのだろう。人口は減少し、市場は縮小し、我々産業界も大きく変わる。大学といえども、国の方向性を踏まえた上で、大きな改革が求められることは間違いない。

(2) 医学部附属病院の経営状況等について

腰地副学長から、資料2に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

4. 報告事項

(1) 2019年度福井大学事業費に係る概算要求の概要について

一居理事から、資料3-1、資料3-2及び参考資料に基づき2019年度福井大学事業費に係る概算要求の概要について報告があった。

(2) 入学者状況について

中田理事から、資料4に基づき入学者状況について報告があった。

(3) 平成29年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について

中田理事から、資料5に基づき平成29年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について報告があった。

(4) 外部資金の受入れ状況及び知的財産活動について

岩井理事から、資料6に基づき外部資金の受入れ状況及び知的財産活動について報告があった。

—主な意見—

○共同研究の件数は上がっているが、金額は上がっていない。1件あたりが安すぎるのではないかと、高い金額の取れる共同研究を進めてはどうか。

○特許についても、件数は多いが対価を得られているのかという印象があり、もっと成果物に対する企業からのロイヤリティなどの活動を増強してはどうか。

□ご指摘は国から指導を受けているところでもあり、そのとおりである。県内の共同研究については、地元の大学として金額に拘わらず推進すべきであり、その面もあって金額が上がらないのだろうが、今後は組織対組織を重視しながら、共同研究を進めていきたいと思う。

(5) 福井大学基金について

学長から、資料7に基づき福井大学基金について報告があった。

(6) 本学の取組みに関する最近の記事について

学長から、資料8の記事について、お目通し願いたい旨の案内があった

5. 閉会

学長から謝辞が述べられ、今回は、平成30年1月16日(水)に開催する旨案内があり、閉会した。

第75回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 平成31年1月16日(水) 12:40～14:45

場 所 福井大学本部棟2階 第一第二会議室(文京キャンパス)

出席者

(学外委員 7名) 江守康昌、川田達男、佐々木正峰、笹田昌孝、藤林康久、山崎幸雄、鷺山恭彦

(学内委員 8名) 眞弓光文、上田孝典、中田隆二、岩井善郎、一居利博、腰地孝昭、安田年博、寺岡英男

欠席者

(学外委員 2名) 伊藤正一、藤田穰

陪席者

牧野監事、石井パークマン教育学部長、内木医学部長、福井工学部長、

木村国際地域学部長、松木連合教職開発研究科長、舟木参与、本多参与、窪田参与

及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員17名のところ、15名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

(定足数: 委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条)

2. 第74回会議議事要旨の確認について

学長から、第74回会議議事要旨について確認後、了承された。

3. 討議事項

(1) 大学院組織について

学長から、資料1に基づき、大学院組織について説明があった後、次のような意見交換があった。

—主な意見—

(○学外委員、□学内委員意見。以下同じ)

○従来から、教員養成における教科専門の在り方には様々な指摘があるが、福井大学は教職大学院において実践的な力を付ける点で高い評価を受けてきたのだから、教科教育においても、同様に高い評価を得られるように頑張ってもらいたい。

□修士課程では、学生と教員が協働して学校現場の課題にも取り組みながら、1教科の専門性のみならず隣接分野とのより多角的、批判的なものの見方を高めていく、「協働実践研究プロジェクト」という8単位の授業を中心におき運営してきている。この経験と知見が、一本化した教職大学院における専門性の担保に直結している。現在、具体的にさらに膨らませて、複数の教科担当がある観点からのテーマを設定し、カリキュラムに載せていくことを中心に検討している。

□国から、修士課程で養成していく教員と、教職大学院等で養成していく教員との差別化が強く求められている。教職大学院では、教科の専門をもう一度見直しながら、授業に則してもう一度考え直していくことを狙っている。

□教職大学院の設置から10年経ち、2度入学する可能性のある学生が増えている。また、海外の現職教員からも入学希望がある。その受入れのためにも、Ed.DもしくはPh.Dを設置しなくてはいけないと考えている。近々中にそれに向けた準備を進めていきたい。

(2) 医学部附属病院の経営状況等について

腰地副学長から、資料2に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

4. 報告事項

(1) 2019年度国立大学法人運営費交付金について

一居理事から、資料3に基づき2019年度国立大学法人運営費交付金について報告があった。

(2) 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について

上田理事から、資料4に基づき平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

(3) 福井大学基金について

学長から、資料5に基づき福井大学基金について報告があった。

(4) 本学の取組みに関する最近の記事について

学長から、資料6の記事について、お目通し願いたい旨の案内があった

(5) その他

学長から、委員に対し、全体を通しての意見聴取があった。

—主な意見—

(○学外委員、□学内委員意見。以下同じ)

○財政が厳しい中、良い評価を得て予算を確保していかななくてはならないが、国立大学法人評価は減点主義の傾向にあるため、地域貢献の取り組みが予算確保につながるように加点主義への要望を発信していった方が良い。

○各大学が持つ様々な資源をいかに活かすかに尽きる。それを通して、大学の個性や強みをいかに対外的に主張していくか。そのためには従来の延長線上だけではなく、新しい取り組みにも積極的に取り組んで欲しい。その中で、基盤的経費としての運営費交付金が削減される中で、大学の個性を活かすために学長裁量経費を確保し、積極的に活用する仕組みを考えた方が良い。

○誰かの作った物差しだけでなく、この物差しで評価して欲しいという思考の転換をすると、学内外にアピールが出来るのではないか。

5. 閉会

学長から謝辞が述べられ、次回は、平成31年3月13日(水)に開催する旨案内があり、閉会した。

第76回国立大学法人福井大学経営協議会書面審議議事要旨

発送 平成31年2月12日（火）

（学外委員 9名） 伊藤正一，江守康昌，川田達男，佐々木正峰，笹田昌孝，藤田穰，
藤林康久，山崎幸雄，鷺山恭彦

（学内委員 8名） 眞弓光文，中田隆二，上田孝典，岩井善郎，一居利博，腰地孝昭，
安田年博，寺岡英男

審議事項

1. 本学役職員の給与改定方針（案）について

（1）国立大学法人福井大学役員給与規程の一部改正（案）について

（2）国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

2. 大学院の組織改編（案）について

書面審議した結果，委員からの異論は無く，原案どおり承認した。

第77回国立大学法人福井大学経営協議会議事要旨

日 時 平成31年3月13日(水) 12:40～15:10

場 所 福井大学本部棟2階 第一第二会議室(文京キャンパス)

出席者

(学外委員 6名) 伊藤正一、江守康昌、川田達男、笹田昌孝、藤田穰、鷺山恭彦

(学内委員 8名) 眞弓光文、上田孝典、中田隆二、岩井善郎、一居利博、腰地孝昭、安田年博、寺岡英男

欠席者

(学外委員 3名) 佐々木正峰、藤林康久、山崎幸雄

陪席者

牧野監事、石井パークマン教育学部長、内木医学部長、福井工学部長、

松木連合教職開発研究科長、舟木参与、高田参与及び関係部課長等

1. 会議の成立について

議題に先立ち、事務局より、構成員17名のところ、14名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

(定足数: 委員の3分の2 国立大学法人福井大学経営協議会規則第7条)

2. 第75回会議及び第76回(書面審議)議事要旨の確認について

学長から、第75回会議及び第76回(書面審議)議事要旨について確認後、了承された。

3. 審議事項

(1) 2019年度年度計画案について

上田理事から、資料1に基づき、平成30年度年度計画案について説明後、了承された。

(2) 退職手当に係る業績の勘案について

上田理事から、当日配付資料1に基づき眞弓学長の退職手当に係る業績の勘案について説明後、了承された。次いで、学長から、当日配付資料1に基づき、理事の退職手当に係る業績の勘案について説明後、了承された。

(3) 役員の本給について

学長から、当日配付資料2に基づき、役員の本給について説明後、了承された。

(4) 平成31年度の総人件費方針の変更について

学長から、資料2に基づき、平成31年度の総人件費方針の変更について説明後、了承された。

(5) 2019年度学内予算配分(案)について

一居理事から、資料3に基づき2019年度学内予算配分(案)について説明後、了承された。

(6) 国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について

一居理事から、資料4に基づき、国立大学法人福井大学職員就業規則等の一部改正(案)について

説明後、了承された。

(7) 国立大学法人福井大学理事に関する規則等の一部改正（案）について

上田理事から、資料5に基づき、国立大学法人福井大学理事に関する規則等の一部改正（案）について説明後、了承された。

—主な意見—

事務局長は雇用者側ではないのか。

社会労務士にも確認したが、法人化以降、事務局長が雇用者側に立った前例はないと聞いている。

(8) キャンパスマスタープラン2018の策定について

一居理事から、資料6に基づき、キャンパスマスタープラン2018の策定について説明後、了承された。

—主な意見—

前任校では長期プランを立てると同時に、随時調整を行っていたが、その点はどうか。

毎年時機に応じて見直しを行うこととしたい。

自治体との連携は重要な点だと思う。

(9) 産学官連携・地域イノベーション推進機構の組織的機能拡充について

岩井理事から、資料7に基づき、産学官連携・地域イノベーション推進機構の組織的機能拡充について説明後、了承された。

4. 討議事項

医学部附属病院の経営状況等について

腰地副学長から、資料8に基づき、医学部附属病院の経営状況等について説明があった。

5. 報告事項

(1) 本学の取組みに関する最近の記事について

学長から、資料9の記事について、お目通し願いたい旨、案内があった。

6. その他

学長から、下記3点の発言があり、引き続きご助言願いたい旨依頼があった。

予算の確保について、評価結果による部分が今後ますます大きくなり、厳しい状況である。

年俸制の導入を進める必要がある。

3年後の第4期中期目標・中期計画に向けた計画を今夏までに作成する必要がある。

7. 閉会

最後に学長から、3月をもって今期委員任期が終了するため、委員を務めていただいたことに対する謝辞が述べられた後、今期をもって退任する委員の案内があった。次回開催については、調整の上、後日連絡する旨案内し、閉会した。